


2023 ~ 2024 年度国際ロータリーのテーマ

## 世界に希望を生み出そう

- 会長 中島 祐爾
- 幹事 緒方 公一

 No.1850 令和 06 年 02 月 14 日 第 27 回例会



世界に希望を生み出そう

※例会日 毎週水曜日 12:30~

※例会場 〒860-0846 熊本市中央区城東町4の2 熊本ホテルキャッスル内

※事務所 〒860-0846 熊本市中央区城東町4の2 熊本ホテルキャッスル内 TEL 354-4521 FAX 354-4053

※ URL <https://www.serc2720.org> ※ email [serc@serc2720.org](mailto:serc@serc2720.org)



### ■点鐘

### ■国歌斉唱「君が代」

### ■ロータリーソング「それでこそロータリー」

(ソングリーダー 彌富照皇)



### ■来訪者紹介 (会長 中島祐爾)

卓話者 三村彰吾 ガバナーエレクト  
(熊本りんどうRC)

熊本東RC 守谷光弘君 (オンライン参加)

### ■会長の時間 (会長 中島祐爾)

地区補助金基準 (2720 地区)



①補助金管理セミナーに出席していないクラブは無資格 (今年 1 月 23 日開催)

②MOU と各種書類を期限内に提出すること。

MOU とは memorandum of understanding クラブと地区との覚書

③ロータリー財団の使命に沿った事業であること。

④ロータリー財団地区補助金およびグローバル補助金の「授与と受諾の条件」に沿っていること

⑤補助金額が総予算の半分以上であること

⑥クラブの過去 3 年間の R 財団寄付総額の年一人あたりの寄付額が  
1~100ドル未満 地区補助金の上限 ..... 2000ドル  
100~150ドル未満 地区補助金の上限 ..... 3,000ドル  
150ドル以上 地区補助金の上限 ..... 4,000ドル

⑦クラブの過去 3 年間の R 財団寄付総額 (ドル) × 50% を地区補助金の上限とする

⑧年次基金の寄付額が 0 のクラブは無資格

⑨申請事業は各クラブ 1 事業とする

⑩算出した補助金の 1 千円未満は切り捨てる

⑪条件付きではあるがスポーツ大会も対象とする (上限 20 万円以内)

⑫地区内での補助金申請総額が、地区の総予算を超えた場合は、R 財団補助金審議・監査委員会にて決定する

地区補助金が使える事業例

- 養護施設児童の通学自転車寄贈
- 障がい者車いす・ふれあい支援駅伝大会
- 水源涵養林の植樹
- 河川の下草刈り清掃
- 水路整備等の環境美化
- 求職者センターや学校へパソコン寄贈

今までは人道的プロジェクト、あるいは環境保全プロジェクトに限定されてきましたが、新たに教育的プロジェクト等が加わり、非常に利用しやすくなりました。

補助金が使えないもの

- 人種・性別・言語・宗教・年齢の差別的なもの
- 政治・宗教にかかわること
- 妊娠中絶、性別決定等に関すること
- IAC、RAC、RYLA、友情交換、青少年交換などの R I プログラムの支援
- ロータリーに恩恵のある活動や事業

### ■幹事報告 (幹事 緒方公一)

■来信案内

1)

膳所和彦ガバナー、井上邦弘 青少年奉仕部門長、後藤真吾 RYLA 委員長より、2023-24 年度 RYLA (青少年指導者養成プログラム) セミナー開催の案内。



日 時 2024 年 4 月 27 日 (土) ~ 29 日 (月・祝) 2 泊 3 日

場 所 久住スポーツセンター

参加者 20 歳から 30 歳程度の青少年 (先着 30 人)

参加費 受講生 10,000 円 (宿泊・食事・研修費含む)

ロータリアン 20,000 円 ※当日集金

## ■クラブより

1)

第8回定例理事会報告。

## ■今後の地区行事

2024	3月2日(土)～ 3日(日)	会長エレクト研修セミナー	熊本県熊本市	熊本城ホール、 ホテル日航熊本
		山田公也、前田日出夫、古田哲朗		
	3月2日(土)	中津RC創立70周年記 念式典・祝賀会	大分県中津市	ヴィラルーチェ
		案内中		
	4月7日(日)	地区研修・協議会	熊本県熊本市	熊本城ホール
案内中				
5月17日(金) ～ 18日(土)	地区大会	大分県日田市	パトリア日田・日 田温泉小京都の宿 みくまホテル	
			案内中	

## ■ロータリー情報の時間

(ロータリー情報担当委員 松本 繁)

前回、私のロータリー情報では、もしあなたにとってロータリーとはと問われたら、私、松本にとってのロータリーは「人生の師」であり、「経営の師」であると答えたいと思う。前回、このようなお話をしました。



そこで、今回からの私のロータリー情報担当の際は、35年11ヶ月のロータリー歴で、私がロータリーで学んだこと(ロータリー活動で、ロータリーに関する書物で、先輩の教えで)、その学んだことを、自分の人生で、また経営で、いかに実践してきたかなどについて、お話ししたいと思います。どうか寛容の精神をもってお聞きいただければ幸いに存じます。

私がロータリーで学んだ最も大切なことは、ロータリーで言うサービス Service 原語(邦訳 奉仕)の意味です。サービスは相手のことを思い、相手の立場に立って物事を考え、相手の役に立つ行為です。奉仕(仕え奉る)こととは概念が同じではありません。サービスの心がけ(利他の精神)はどんな時でも大切で、例えば家庭でも大切です。相手のことを思う行為は、良い家庭、幸せな家庭につながります。ビジネスでもサービスの心がけは、シェルドンの言葉を借りれば、“永続的な顧客を得る道”です。ですから“最もよくサービスする者、最も多く報いられる”というモットーが生まれるのです。

しかし、サービスの心がけが必要だということは解っていても、これを実践することはなかなか難しいことです。何故なら、人間誰もが本能的に、自己欲を持っていて、利他の心よりも利己の心が優先しようとするのです。私も、ロータリーに入会した最初のころは利己の精神そのものだったように記憶しています。しかし、ロータリー活動を続けて行くうちに、徐々にサービス(奉仕)の意味(利己よりも利他が優先する)が理解できるようになり、私なりに、ロータリー活動やビジネス、家庭で実践できるようになってきたと思われれます。

## 実践1. サービスの相手方が社員の場合

平成5年、合志工業団地に合志配送センター建設(6億円投資、高度化資金借り入れ)ロータリー入会6年後、幹事就任の前年経営コンサルタントを迎え、業績アップを(いかに利益を上げ、借入金の返済をするか)を図りましたが、バブル崩壊後でもあり、いっこうに効果がありません。社員の定着率も悪かった。まさに、「笛吹けど踊らず」という状況でした。ストレスは最高潮に達していました。

そこで私はよくよく考えました。そもそも合志配送センター建設(6億円の投資)は経営者(自分自身)の決断であり、社員からの要請があったわけではありません。だから、社員には責任はありません。すべて、経営者自身の責任なのです。

その時、つくづく自分自身の無力さを痛感しました。経営者一人では何もできない、仕事をするのは社員、社員が主役だということを悟りました。

\*ロータリーの職業奉仕の教え(利他の精神)により、社員のことを思い、社員のためになる、社員主体の経営、「社員の幸せづくり経営」に変えていきました。

福利厚生充実、退職金制度の見直し、年金の上乗せ(厚生年金基金)加入、社員旅行、社員医療保険加入、決算賞与支給(利益が出れば一番目に社員に還元する)、社員が安心して働ける、働き甲斐のある会社を目指しました。数年間は借入金も減りませんでした(返済のために借り入れる)が、徐々に業績も好転していきました。経営の神髄は、いかに社員を自主的に動かすかにかかっています。私の心掛けていることは社員を「認める」「任せる」「褒める」そして「許す」です。(これもロータリーから学んだこと)これにより、社員の定着率も良くなり、業績も安定していったようです。借入金も8年前に返済終了、肩の荷が下りた気分でした。息子もこのやり方(社員中心の経営)を踏襲していますので安心してます。

しかし、これはあくまでも私のやり方、考え方であり、皆さんに当てはまるものではありません。ロータリーは多様性を重んじます。それぞれのやり方、考え方で経営に当たっていただければと思います。

次回は実践2。相手方が妻、子、孫の場合についてお話ししたいと思います。

## ■委員会報告

(次年度ガバナー補佐 山田公也)



IM(3月30日)ご出席のお願い  
※次年度担当クラブがIMのホストとなります。

## ■委員会報告

(親睦・スマイル担当 松岡泰光)



2月23日親睦ボウリング大会について  
2月28日新会員歓迎会について

## ■委員会報告

(青少年奉仕担当 杉本整哉)

2月13日熊本東南ロータリーアクトクラブ例会報告  
(膳所和彦ガバナー公式訪問)



## ■出席報告

(出席・プログラム担当 小竹 誠)

月日	会員数	出席者数	MU	修正出席者数	出席率 (%)
01月31日	42 (免4) 38	32	1	33	86.84
02月14日	42 (免3) 39	30 Zoom2			76.92

### ☆出席免除

01月31日  
住江正治 島村徹男 志賀重人 永野昭一  
02月14日  
住江正治 島村徹男 永野昭一



### ☆欠席者

01月31日 (5名)  
川崎直樹、松元将潔、小野川善久、堤 勝也、山本浩之

## ■スマイル報告

(親睦・スマイル担当委員 西田智史)



◎三村彰吾 ガバナーエレクト 5,000円  
熊本りんどうロータリークラブの三村彰吾と申します。現在ガバナーエレクトをさせていただいています。本日は、この前の地区チーム研修セミナーの内容をお話したいと思っています。どうぞよろしくお願い申し上げます。



◎宮川義行 5,000円  
三村ガバナーエレクトのご来訪を歓迎します。小春日和が続いています。今年はひと味違った冬を迎えました。昨年2月15日脳梗塞の手術をして明日で1年、明日、済生会で検査をすることになりました。5mも歩くと立ち止まり、左半身の麻痺が治まってまた歩く。その状態が3ヶ月程続いて、1月30日とうとう歩けなくなり、入院、手術の結果、麻痺の回数が激減、リハビリで100歩歩けるように回復。寒いと麻痺が起きていたのでこの冬の暖かさはラッキーでした。ただ一つ残念だったのは、昨年2月8日の生駒さんの会員卓話が聞けなかった事です。誰か録画してたら見せてください。このまま春になることを祈っています。



◎彌富照皇 5,000円  
三村ガバナーエレクトの卓話を大変楽しみにしております。誕生祝い頂きありがとうございます。



◎前田日出夫 5,000円  
先週は誕生祝いありがとうございました。今日は、三村ガバナーエレクトの卓話、心待ちにしておりました。楽しみにしております。



◎松本 繁 3,000円  
三村彰吾ガバナーエレクトのご来訪を心より歓迎してスマイル致します。



◎山田公也 3,000円  
三村ガバナーエレクトのご来訪、心より歓迎致します。卓話楽しみにしております。



◎中島祐爾 2,000円  
三村ガバナーエレクト、本日卓話よろしくお祈いします。



◎松岡泰光 1,000円  
三村ガバナーエレクトのご来訪を歓迎してスマイルします。卓話もよろしくお祈いいたします。

## ■卓話

(三村彰吾ガバナーエレクト)

卓話者紹介 前田日出夫 会長エレクト



「地区チーム研修セミナーについて」

## ■点鐘

編集 西田智史

山火事・森林火災を未然に防ぐグローバル補助金プロジェクト

投稿日:2月5,2024 投稿者:nobbie1215

～日本で初めて承認された「環境」重点分野でのプロジェクト  
寄稿者:大澤力(新潟西ロータリクラブ)

## 切迫していく地球環境

世界気象機関(WMO)とコペルニクス気候変動サービスは、2023年6月～10月の5カ月間連続で地球の平均気温が過去最高を更新したと発表しました。この世界的な高温は、エルニーニョ現象の強

まりなどが大きな影響を及ぼしていると考えられますが、それだけでは説明が難しく、長期的な地球温暖化（気候変動）の影響が加わっていることが確実です。

そんな 2023 年の夏、世界各地から山火事や森林火災のニュースが多く報告されました。8 月にはハワイ、マウイ島の火事でとても痛ましく凄惨な映像が TV のニュースで報道されました。まさに、あぁいった山火事や森林火災を環境整備によって未然に防ごう、起こったとしても被害を最小限に食い止めよう、というグローバル補助金プロジェクト（ドイ・ジョラケ丘陵の環境保全）についてご紹介します。

## きっかけは学友からの一通のメール

このプロジェクトは、ロータリーの新しい重点分野「環境」にまつわる 3 年にわたる継続事業（2022 年 6 月開始）で、第 3360 地区のメーチャンロータリークラブ（タイ）と第 2560 地区の当新潟西ロータリークラブが援助国側パートナーとなり、「ほほ笑みの国」タイで現在も継続実施されています。プロジェクト立ち上げのきっかけは、ロータリー学友からの 1 通のメールで



した。送り主は、2019-20 年度、当地区財団奨学生だった長谷部千紘さんです。今現在広島で就職されている彼女からのメールには「留学先の現地で訪問したメーチャンロータリークラブでお世話になったジョージさんから、タイ北部で計画しているグローバル補助金事業にあなたのスポンサークラブにも参加してほしい、というご案内が来たので是非ご検討をお願いします」と書かれていました。正直、自分自身や当クラブにとって、それまで縁遠いグローバル補助金事業だったので、長谷部さんの存在なくては始まらなかった事業だったと思います。ロータリー学友が現地タイとの懸け橋となり、非常に小さなつながりが、とても大きな地球規模での環境問題に取り組むグローバル補助金プロジェクトへと発展していったのです。

## 森林火災を未然に防ぎ、地球環境を守る

ドイ・ジョラケとは、タイ北部の丘陵地帯の名前で、「ドイ」はタイ語で「丘」、「ジョラケ」は「ワニ」を意味します。巨大なワニが眠っているような形になっているのが名前の由来となっている自然が豊富な丘陵地帯ですが、残念なことに 3 年連続で森林火災が起これ、そのたびに数日間、または枯葉や小枝などが燃え尽きるまで続くそうです。地球温暖化（気候変動）が原因と思われるこういった大規模な山火事や森林火災は、大量の温室効果ガス



(CO2) を排出します。このプロジェクトの目的は、森林火災発生を防止し、CO2 発生を抑止することにより、地球環境を守ることです。

活動内容は次の通りです：

1. 29 の村でのワークショップ：各村から 30 人が参加し、火災防止のためのワークショップに参加します。これらの参加者は、プロジェクト活動のボランティアとなります。
2. 50 キロメートルにわたる防火帯の構築：上記ボランティアやその他のボランティアを募り、防火帯（延焼被害を食い止めるための带状の地域）を 3 年かけて構築します。
3. 10 キロメートルのジョギングトレイル建設と標識の作成
4. 40 の小さな堤防建設と植樹
5. 森林歩行パトロール活動

このプロジェクトは日本で初めて承認された環境重点分野での人道的奉仕のグローバル補助金プロジェクト、というオマケがつかまりました。「世界に貢献する、継続した奉仕プロジェクト」という、当クラブのビジョン・行動計画にも適っていますし、完了予定の 2025 年に創立 50 周年を迎える当クラブにとって、この上ない記念事業となることでしょう。また、このプロジェクトが山火事や森林火災で困っている世界中の人びとに希望を生み出すことを心から願っています。

### <寄稿者プロフィール>

大澤 力（おおさわ つとむ）



株式会社東プロ代表取締役。2011 年に新潟西ロータリークラブに入会。クラブ幹事、クラブ会長、第 2560 地区 RLI 推進委員会副委員長、第 2560 地区戦略計画委員長と歴任。ロータリー財団マルチプル・ポール・ハリスフェロ（+3）、第 6 回米山功労者マルチプル

ロータリーボイスより

<https://rotaryblogja.org/>

ロータリーボイス

世界で行動する人びとの体験談とストーリー

検索

